

事業主体	北九州市（担当課 建設局河川部河川整備課）
事業実施場所 及び規模	八幡東区 高見地区（板櫃川中流部） 板櫃川水辺の楽校 延長 850m
工事期間	平成8年度 ～ 平成19年度
環境配慮の 背景・目的	板櫃川（高見地区）水辺の学校プロジェクトは、八幡東区の「高見地区住宅市街地整備総合支援事業」[水と緑に恵まれた高品質の住宅整備]と併せ、近隣の小学校や地区に住む人々が水とのふれあいを通し、自然と親しめる様な水辺づくりを推進し、住宅整備と一体となって広がりをもった河川空間の創出を行うことを目的としている。
環境配慮の内容	
<p>1. 整備方針</p> <p>子ども達が成長過程で自由に遊んで河川の役割や歴史を学ぶことが出来る機会・空間を創造するため、「街の中での冒険」をテーマに整備を行った。また、住民の参加によって、洪水に対して安全で、美しく豊かな生態系に恵まれた川の整備を行い、環境との共生を学べるようにする。</p> <p>2. 主な整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 散策路や階段、緩やかなスロープの設置 草すべりや寝転ぶことが出来る緩傾斜護岸の整備 水生生物や魚類を観察できるよども 	
	

3. 整備前後の様子

整備前



整備後

整備後3ヶ月

モニタリング調査スタート



整備後7ヶ月

湿地帯が形成され、ヒメガマなど湿地環境を好む植生が繁茂している。



- 整備後3ヶ月
徐々に植生が見られ。
- 整備後7ヶ月
広く湿地帯が形成
ヒメガマなど湿地環境を好む植生が確認
水際にはツルヨシの植生が見られ、
魚類等の棲みよい環境が形成されている
- 整備後2年
大きな出水もあり、
湿地帯は陸地化、川幅は狭くなり、
人の背丈以上のヨシが生い茂っている

整備後2年

・大きな出水もあり、湿地帯が陸地化している。
・川幅は狭くなり、人の背丈以上のヨシなどが生い茂っている。

